

北海道教育大学教職大学院

令和3年度 新カリキュラム スタート

教職大学院が
生まれ変わります

令和3年度
(2021年度) 4月
入学者用

設置計画は現在構想中

※本資料の内容は計画段階のものであり、
変更されることがあります。



国立大学法人

北海道教育大学
HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION



学校をアップデートする

社会のニーズに
マッチした魅力ある
学校運営の方法
マネジメントの方法

新しい
学習指導要領に
基づいた学級経営
授業の方法

ICTを活用した
授業や特別活動の
実施方法について

校内研究の有効な
活用方法と進め方

教科の特性に
ついて検討し、
それを日常の授業に
活用する方法

北海道教育大学大学院高度教職実践専攻（教職大学院）は、これまで400人以上の修了生を輩出してきました。今回のカリキュラムの改編では、学部生及び現職教員の方々の学びに最適なコンテンツを準備しております。今後更に北海道教育大学の教職大学院が、学校をアップデートできる人材育成の拠点として、学校教員のための学びの場として生まれ変わります。私たちと一緒に、日本の教育について考えていきませんか。

I 新教職大学院の概要

【修業要件】

標準修業年限は2年間で、所定の単位を取得した者に教職修士（専門職）の学位が授与されます。現職教員（教育委員会派遣者）向けの短期履修学生制度、長期履修学生制度（3年又は4年）、小学校又は中学校教諭1種免許取得のための教員免許状取得特別プログラム（3年）など、興味関心にあったコース、科目を履修することができ、必要に応じて自分に合ったプログラムを選択することが可能です。

【専修免許状】

一定の科目履修により、教育職員免許状1種に対応する以下の専修免許状の取得が可能となる予定です。詳細はウェブサイトによる最新情報を参照してください。

幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状（各教科）、高等学校教諭専修免許状（各教科）、養護教諭専修免許状、特別支援学校教諭専修免許状

II 新教職大学院のコース

〈学校組織マネジメントコース※（現職教員）〉

学校管理職や地域の指導的立場としての活躍する経営的資質能力の向上

国や北海道の教育改革の方向性を理解し、社会の変化、保護者・地域等の期待を踏まえて、目指す学校の姿を経営方針やグランドデザインとして示すとともに、達成するための方策や評価・改善の仕組みを具体化して、教職員や地域等との協働による学校・園の経営を行うことができる人材を育成します。

〈教職キャリア形成・研修デザインコース※（現職教員）〉

教育実践研究に中心的に取り組むことができるミドルリーダーの資質能力の向上

校長等の経営方針の下、学校のねらいを達成するため、保護者、管理職や同僚、地域等と協働して実践するほか、必要に応じて自ら課題解決のための企画を提案し、ミドルリーダーとして職場の協働体制の充実・推進を果たすことのできる人材を育成します。

〈子ども理解・学級経営コース（現職教員、ストレートマスター）〉

教育活動の基盤となる子どもの理解や集団・学級の運営に関する資質能力の向上

学校における子どもを理解し、その成長・発達に寄り添うとともに、保護者、同僚や地域等と協働して、子どものニーズに応じた支援を行いながら、学級を単位として展開される様々な教育活動を推進することのできる人材を育成します。

〈教科指導・授業開発コース（現職教員、ストレートマスター）〉

各教科の専門的指導と教材を開発するための実践力に関する資質能力の向上

各教科の専門性を獲得するとともに、子どもの学力・関心等の実態を把握し、保護者、同僚や地域等と協働して、子どもの学びが深められるような実践的指導力を高め、各教科の教材を開発し、授業実践に生かすことのできる人材を育成します。

〈特別支援教育コース（現職教員、ストレートマスター）〉

配慮を必要とする多様な子どもに対する専門的な支援に関する資質能力の向上

障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援し、保護者、同僚や地域等と協働して、子どもの生活や学習上の困難を改善・克服する専門家として、特別支援学校や特別支援学級の教育に貢献することのできる人材を育成します。

〈養護教育コース（現職教員、ストレートマスター）〉

子どもの健康を支える保健・健康教育活動等の実践力に関する資質能力の向上

養護教諭として、保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動に関する専門的実践力を深め、保護者、同僚や地域等と協働して、子どもの心身の健康問題に対応する専門家として、学校教育に貢献することのできる人材を育成します。

※北海道教育委員会大学院研修派遣制度は「学校組織マネジメントコース」と「教職キャリア形成・研修デザインコース」から選択、札幌市教育委員会大学院研修派遣制度は全コースから選択できます。



Ⅲ 開設科目の紹介

※科目は2020年3月時点で開設予定のものです。また科目は一部で、詳細はウェブサイトで確認してください。

共通科目
(必修)

- 今日的学力・能力観とカリキュラム・マネジメント^{※1}
- インクルーシブ教育の理念と教育課程
- ICTを活用した教育の実践と課題
- アクティブ・ラーニングの理論と実践
- 特別支援教育の視点からの学習指導
- 子どもの発達と学習
- 教育相談の理論と実際
- 生徒指導の実際と今日的課題
- 学級・学年経営の理論と実践^{※2}
- 学校危機管理の実際と課題
- 教師のメンタルヘルスとエンパワメント
- 学校における組織的な人材育成と授業改善
- 教育実践研究へのアプローチ
- 北海道の教育課題解決へのアプローチ

北海道教育
大学の特色ある
領域科目

- 地域性を生かした総合的な学習（選択）
- 道徳教育の理論と実践（選択）
- プログラミング教育の実践と課題（選択）
- へき地・小規模校の実際と課題（選択）
- 教育情報資源と学びの環境・指導（選択）
- 個別の教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅰ（選択）
- 個別の教育的ニーズのある子どもへの対応Ⅱ（選択）

学校組織マネジメントコース	●学校組織マネジメントの理論（必修） ●管理職に求められるリーダーシップ（必修） ●学校運営と教育法規（必修） ●教員の働き方と校務の効率化（必修） ●学校組織マネジメントの実践的展開（必修） ●学校経営戦略の分析と策定（必修） ●社会に開かれた学校 ●教育行政マネジメントの理論と実際 ●学校事務の職務と連携方策
教 職 キ ャ リ ア 形 成 ・ 研 修 デ ザ イ ン コ ー ス	●教師としてのキャリア・デザイン（必修） ●学校運営におけるミドルリーダーの役割と課題（必修） ●授業研究の理論と実践（必修） ●カリキュラム・マネジメントのためのデータの分析と活用（必修） ●学校と教員の文化 ●教師の実践研究ネットワークの形成（必修） ●校内研修デザインの理論と実践Ⅰ ●校内研修デザインの理論と実践Ⅱ ^{※3} ●学級・授業づくりを通した教師支援（必修）
子ども理解・学級経営コース	●子どもと教師の関係づくり（必修） ●子どもの問題行動の実際と実践的対応（必修） ●学級経営の実際と課題Ⅰ（必修） ●学級経営の実際と課題Ⅱ（必修） ●子どもと社会（選択必修） ●学級経営と授業づくり ●道徳を基盤とした学級経営 ●キャリア教育の実際と課題（選択必修） ●現代的課題に対応した学びのコミュニティづくり ●授業における子どもの行動と心理（選択必修） ●子ども理解のためのアセスメント（選択必修） ●教育課程編成と学級経営
教科指導・授業開発コース	●授業デザインの基礎（必修） ●教科横断的な視点に立った授業開発（必修） ●学習評価の理論と実際（必修） ●総合的な学習の時間の実践と課題（必修） ●教科教育研究の理論Ⅰ（選択必修） ●教科教育研究の理論Ⅱ（選択必修） ●教科教育研究の実践と展開Ⅰ（選択必修） ●教科教育研究の実践と展開Ⅱ（選択必修） ●教科内容の体系Ⅰ（選択必修） ●教科内容の体系Ⅱ（選択必修） ●教科内容研究（各教科各分野） ●教材内容・教材開発（各教科各分野）
特 別 支 援 教 育 コ ー ス	●特別支援教育の教育課程と授業の在り方（必修） ●特別支援教育における教育相談と保護者支援（必修） ●特別支援教育コーディネーターの役割と課題Ⅰ（必修） ●特別支援教育コーディネーターの役割と課題Ⅱ（必修） ●特別支援教育のシステムと実際 ●障害のある子どもの理解と支援Ⅰ（必修） ●障害のある子どもの理解と支援Ⅱ（必修） ●障害のある子どもの理解と支援Ⅲ ●障害のある子どもの理解と支援Ⅳ ●障害のある子どもの理解と支援Ⅴ ●現代社会と障害児・者 ●発達障害の心理・行動特性に基づく指導と支援 ●特別支援教育の現代的課題と教育実践 ●特別支援教育の実践と理論 ●特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅠ ●特別な支援を必要とする児童生徒のアセスメントⅡ
養 護 教 育 コ ー ス	●保健組織活動におけるマネジメント（必修） ●養護活動と保健教育（必修） ●養護実践の理論と方法（必修） ●子どもの心身の健康における協働的援助（必修） ●学校における保健教育の意義と課題 ●カリキュラム・マネジメントを踏まえた保健教育の実際 ●子ども・地域のアセスメントの理論と保健教育（必修） ●保健組織活動とエンパワメント ●学校における医学的課題と探索的研究 ●養護教諭の実践と研究的視点 ●学校医療安全とリスク・クライシスマネジメント ●学校医療安全と子どもの安全への実践的対応（必修） ●養護教諭の教育活動とキャリア形成 ●保健室経営の位置づけ及び理論と実践 ●生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題
複 数 コ ー ス 対 応 科 目	●保護者・地域住民・関係機関等との協働体制づくり ●いじめに関する理論と指導の実際 ^{※4} ●学校教育の現代的課題とその対応 ●校務の情報化推進の理論と実践 ●校種間接続カリキュラム構築の理論と実践 ●学校における外国語教育の推進 ●教育相談のケース・スタディ ●生徒指導のケース・スタディ ●教育調査のための統計Ⅰ ●教育調査のための統計Ⅱ

※Ⅰ 今日の学力・能力観と
カリキュラム・マネジメント

本科目は、学校のエデュケーションの基盤となる学習論や学力論の理解を深めるとともに、いま話題のカリキュラム・マネジメントやコンピテンシー・ベースのエデュケーションについて考察していきます。これからの時代に求められる「真実な学習」について考え、また国内外の学力テストの分析や、コンピテンシー・ベースのカリキュラム・マネジメントを構想することを通して、学校における学習とカリキュラムに迫っていきます。

※Ⅱ 学級・学年経営の
理論と実践

本科目は、児童生徒の望ましい人間関係づくりや円滑な学級経営を推進するための知識を獲得するとともに、様々な実践を批評し、それらを柔軟に活用する力量を向上させることを目標としています。実際の授業では、これからの時代に求められる学級経営や日本の学級経営の歴史や特色について取り上げます。また、行動分析学の方法論を用いたPBIS (Positive Behavioral Interventions and Supports) の理論と実践について学習します。さらに、学級アセスメントの方法や現職教員による実践報告をもとにした演習も行う予定です。受講生の皆さんと共に学級経営について追究していきたいと考えています。

※Ⅲ 校内研修デザインの理論と
実践Ⅰ・Ⅱ

「校内研修」の捉え方は人によって様々です。そして、教育実践は、多様な要件が絡み合い、実践の場では研究のように制御することはできません。つまり、何が原因で何が結果なのかが判別しにくい性質をもっています。それが校内研修を推進していく上での難しさになっていると思われます。この科目では、校内研修のデザイン、つまり「どのような計画を立てて、どのように実践して、どのように評価していくか」というところに焦点を当て、実践例を踏まえながら、受講生の皆さんの「考え方」の形成に寄与したいと考えています。

※Ⅳ いじめに関する理論と
指導の実際

今日の「いじめ」をめぐる議論は、混迷を極めています。ある子ども同士の関係を「いじめ」とみるかどうか、これひとつとっても決して容易な問題ではありません。しかしながら、世間一般ではこういった問題に深く立ち入ることなく「いじめ語り」が流通し、ともすれば実態から乖離した言説まで生じているように思われます。そこで本科目では「いじめ」に対し、その概念と実態双方に教育社会学的視座から接近します。そのうえで実際に子どもたちと接する教師の「いじめ」への向き合い方を探索することが本科目の目指すところと考えています。



Ⅳ 履修の道筋

共通科目 18単位

共通科目は18単位（共通必修を12単位、コース必修を4単位、大学指定科目を2単位）

実習科目 10単位

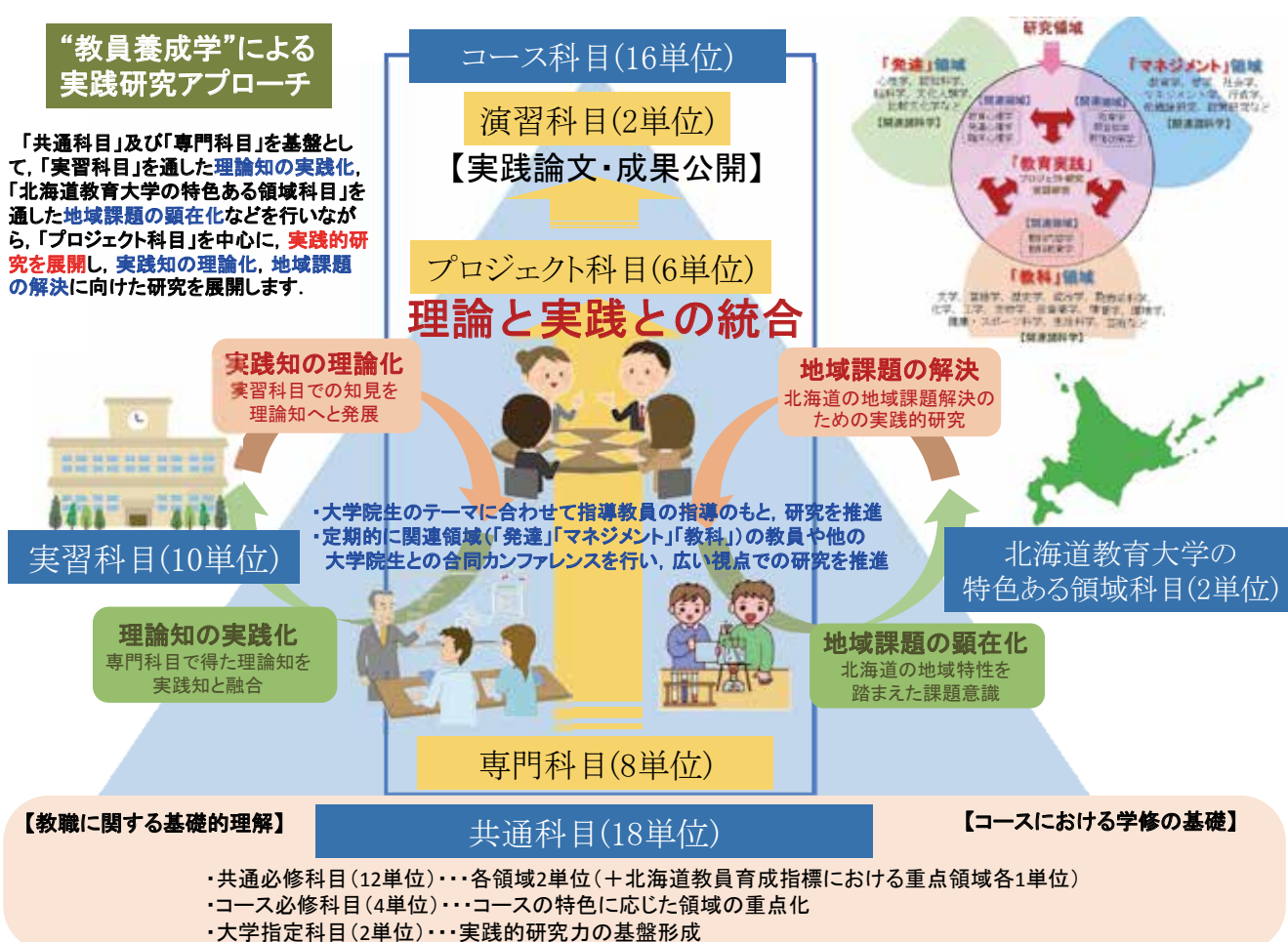
実習は10単位（教育実践研究実習Ⅰ～Ⅱ）履修する必要があります。
※現職の場合免除あり

演習科目（実践論文） 2単位

大学院での学びの集大成として、実践論文（2単位）を履修します。

専門科目 8単位＋プロジェクト科目 6単位＋特色ある領域科目 2単位

専門科目は8単位履修し、その他にプロジェクト科目6単位（教育実践研究プロジェクトⅠ～Ⅲ）、特色ある領域科目を2単位履修します。



V ニーズに応える学びやすい環境が整っています

①実習校の選択

それぞれの関心に合わせて、教育実践研究実習を行うことができます。

②短期履修学生制度（現職教員（教育委員会派遣者））

北海道教育委員会及び札幌市教育委員会大学院研修派遣制度により派遣される現職教員は、短期履修学生制度を申請することが可能で、認められれば1年間で修了することが可能です。

③長期履修学生制度

2年間分の学費で4年間を上限として学ぶことができる長期履修学生制度を選択することが可能です。

④教員免許状取得特別プログラム

小学校又は中学校教諭1種免許状を取得するために修学期間を3年間に延長する制度を選択することが可能です。取得可能免許、カリキュラムなどについての詳細はお問い合わせください。

⑤夜間開講

講義は夜間、土曜日開講のため、勤務しながら通うことが可能です。

⑥採用試験の合格率が高い・採用猶予制度あり（ストレートマスター）

ストレートマスター向けに採用試験対策を実施するため、修了までに採用試験に合格する割合はおおよそ9割以上です。また、すでに採用試験に合格している場合には、大学院を修了するまで教育委員会に採用を猶予される場合がありますので安心して学べます（採用の自治体により一部例外あり）。

入試説明会

札幌

8月29日（土）・11月3日（火）
個別相談会 6/27・7/18・10/3・12/26に実施予定
札幌駅前サテライト
（札幌市中央区北5条西5丁目7Sapporo55ビル4階）

旭川

10月9日（金）18時～・11月28日（土）13時～（要申込）
（教育局の研修会、富良野市や名寄市などで出張説明会実施の予定あり）
旭川校（旭川市北門町9丁目）

釧路

10月4日（日）・11月1日（日）
釧路校（釧路市城山1丁目15番55号）

函館

7月5日（日）・11月21日（土）（要申込）
函館校（函館市八幡町1番2号）

カリキュラム、実習、入試についての説明、大学院の院生室の見学、授業見学、模擬講義体験などが予定されています。詳しくはウェブサイトアクセスしてください。

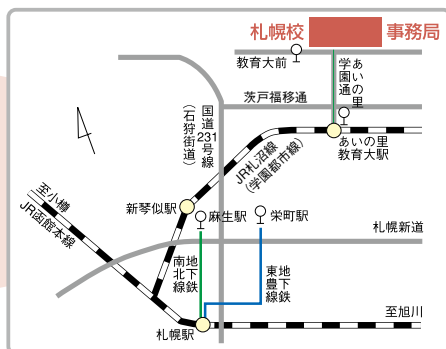
ウェブサイトの紹介（教職大学院、改組情報の特設ウェブサイト）
<https://www.hokkyodai.ac.jp/kyoshokudaigakuin/>

個別相談の実施、教職大学院に関する問い合わせ先
メール（キャンパス共通）：kyosyokudaigakuin@s.hokkyodai.ac.jp



各キャンパスの所在地

事務局
札幌校



〒002-8502 札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号
問い合わせ先：学務部入試課 TEL:011-778-0652

●JR

JR「学園都市線」の「あいの里教育大駅」から徒歩約20分(約1.4km)
札幌駅→あいの里教育大駅 約30分

●地下鉄ーバス

地下鉄南北線の「麻生駅」から中央バス「麻^{あさひ}24あいの里教育大線」で約32分、「あいの里4条5丁目」又は「教育大学前」下車、徒歩2分

●地下鉄ーバス

地下鉄東豊線の「栄町駅」から中央バス「栄^{さかえまち}23栄町・教育大線」で約27分、「教育大学前」下車、徒歩2分

旭川校



〒070-8621 旭川市北門町9丁目
問い合わせ先：学務グループ TEL:0166-59-1223

●バス

JR「旭川駅(駅前バスターミナルのりば④)」から旭川電気軌道バス(⑤旭町・春光線)で15分、「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分

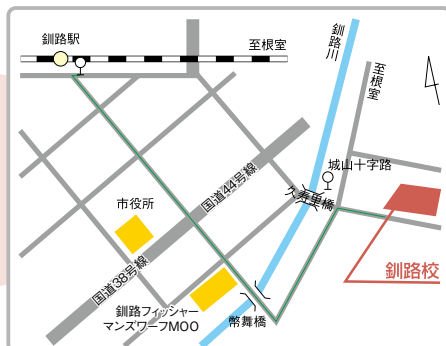
●バス

「1条通8丁目(1の8のりば⑭)」から旭川電気軌道バス(⑭旭町線)で15分、「旭町2条10丁目」下車、徒歩5分

●バス

「1条通8丁目(1の8のりば⑭)」から旭川電気軌道バス(⑭新橋・北門線)で15分、「北門9丁目」下車、徒歩5分

釧路校



〒085-8580 釧路市城山1丁目15番55号
問い合わせ先：学務グループ TEL:0154-44-3233

●バス

JR「釧路駅」からくしろバス(③武佐線、③別保線)で10分、「城山十字路」下車、徒歩4分

函館校



〒040-8567 函館市八幡町1番2号
問い合わせ先：学務グループ TEL:0138-44-4370

●バス

JR「函館駅」から函館バス(82系統)で約10分、「宮前町」下車、徒歩10分

●バス

JR「函館駅」から函館バス(40系統)で約15分、「教育大学前」下車、すぐ

●バス

JR「函館駅」から函館バス(47系統)で約20分、「教育大通」下車、徒歩10分

●車

函館空港から車で約25分

問い合わせ先

◎入試に関する事項

修学を希望する上記の問い合わせ先へ

◎教職大学院の授業に関する事項

【教務課修学支援グループ】TEL:011-778-0328